

長崎県看護協会 会報

発行所 公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL (0957)49-8050(代) FAX(0957)49-8056
発行責任者 西村伊知恵
印刷 株式会社インテックス



Nagasaki Nursing Association

令和5年度 会長あいさつ	2	パパのための育児手帳の紹介	5
令和5年度 三職能委員会活動計画	3	地区支部だより	6~7
リトルベビーハンドブックの紹介	4	病院紹介 出口病院	8



理念

精神科の医療・看護・介護において、
患者・利用者を中心にすすめること、
つまりその人たちの立場に立って
物事を考え、実践すること。

基本的な事として重視する事項

1. 各自の主体性を重んじること、
また、各自は自らの主体性を自覚しそれを重んじること
2. 医療の構造として、ピラミッド型の管理構造ではなく、
「かかえ構造」を目指す
3. 出来事をプロセスとしてみる
4. ケースカンファレンスを重視する



ごあいさつ

公益社団法人 長崎県看護協会
会長 西村伊知恵

新年度を迎え、皆さまの職場には新しい仲間が加わっていることと推察しております。仲間を迎える喜びとともに、職場に迎え入れる上での不安や緊張もあるかと思いますが、新人看護職の皆さんをどうぞよろしくお願いいいたします。

新型コロナウイルス感染症発生から丸3年が過ぎました。第8波では、コロナウイルスの感染力の強さから、多くの医療機関や施設で看護職員が不足する事態に陥りましたが、知恵を出し合っってその危機を乗り越える姿に、看護の底力を見た思いがいたしました。国は、5月8日以降の新型コロナウイルス感染症分類の5類への引き下げを発表しています。コロナゼロにはならないことを考えると、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、どうか引き続きよろしくお願いいいたします。

長崎県看護協会は看護職の活動を支援する団体として、令和5年度の重点目標を1.全世代の健康を支える看護機能の強化 2.専門職としてのキャリア継続の支援 3.地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮 4.地域の健康危機管理体制の構築の4点を掲げ、事業を展開してまいります。また、重点目標・重点事業を確実に推進するために、重点目標とは別に「基盤強化事業」をあげ組織基盤の強化に取り組みます。長崎県看護協会はこの4月に、公益社団法人移行10周年を迎えます。諸先輩方はじめ会員の皆さまのお力添えに感謝申し上げます。私の会長としての任期も最終年となります。重点事業を確実に実施するとともに長崎県看護協会の明日につなぐための組織基盤の強化を念頭におき、理事会や支部と連携して活動してまいります。

会員の皆さま方におかれましては、今年度も長崎県看護協会活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度 **三職能** 委員会活動計画

保健師職能委員会 保健師職能委員長 稗園 砂千子

保健師は、行政、産業分野、医療分野等と幅広い分野で活動しており、保健師職能委員会は、委員長以下県、市町、企業、総合病院、健康事業団の8人の委員で構成しています。

毎月1回の委員会は、働く組織の違う委員が、それぞれの組織・職場で保健師が取り組むべき健康課題について情報共有し、解決に向けた取り組みを一緒に考えていく場となっています。

この3年間保健師は新型コロナウイルス感染症の流行に対し、各職場で様々な感染対策に取り組んできました。委員会も感染対策を行いながら開催、令和4年度は感染状況を見ながらハイブリット方式など工夫して会議や交流会・研修会を開催しました。

コロナ禍を経て全国的に受診控えによる他疾患の悪化・発見の遅れ、外出控えによる高齢者のフレイル問題、育児の

孤立化などの課題が顕在化しています。またこの間採用された新任期保健師の離職や人材育成についても課題となっています。

令和5年度は、このような課題を踏まえて10月に「新任期保健師交流・研修会」、12月に「保健師職能交流会」を開催予定です。例年、異なる分野で働く保健師との交流による情報共有や共感は、お互いをエンパワメントする貴重な機会となっています。

この他、様々な保健師職能団体のネットワーク強化と共通する課題への取組を目的にした「保健師ネットワーク会議」を8月に開催予定です。

令和5年度の活動計画の詳細が決まりましたら、協会だより等でお知らせいたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

助産師職能委員会 助産師職能委員長 吉田 美穂子

助産師職能委員会は、病院、教育分野に勤務する委員8名で活動しています。

「助産師はあなたのそばにいます…」助産師は母子保健と助産の専門職としての人の誕生から老年までのさまざまな健康課題にかかわっています。そのため、母子のみならず、女性の生涯における性と生殖にかかわる健康相談や教育活動を通して家族や地域社会に広く貢献し、その活動は育児やウイメンズ・ヘルスケア活動を包含しています。(公益社団法人日本助産師会：midwife.or.jp)。本年度、助産師職能委員会では、上記能力のさらなる向上と情報発信のために、医療施設、地域での母子保健活動の実施と支援体制構築に向け、以下の内容の研修会等を

計画しています。

1. 「出生前診断・遺伝に関する基礎的知識と看護」研修会(助産師・看護師)
2. 「周産期医療スタッフのための心の健康とリラクゼーション」研修・交流会(助産師・看護師)
3. 「国際助産師の日」イベント(地域住民を対象とした母子保健活動：みらい長崎ココウオークイベント会場)
4. 性教育セミナーの開催(県内小学校、中学校、高校、関連施設)

内容の詳細については、随時お知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

看護師職能委員会 看護師職能委員長 横山 藤美

看護師職能委員会は、I(病院領域)・II(介護・福祉関係施設・在宅領域)からなる委員13名で活動しています。

看護師職能Iでは、令和4年度に開催した研修で参加者より学びが深かったと好評であった「身体拘束はケアでしょうか」の研修会を継続して企画しています。看護師職能IIの領域では、医療と介護の複合体として必要な看護職の役割は多様であり知識や技術の習得が必要な中、少数看護師配置の各施設が、どのように教育などに取り組んでいるかの現状を把握するために実態調査を行います。

さらに、I・II合同で With コロナ時代に看護の専門性を守りながら、職場定着のために教育側と臨床側

で新人教育を考える交流会とアフターコロナにおけるメンタルヘルスケアについての研修会を行います。

全世代型地域包括ケアシステム、地域共生社会の実現が急がれる中、地域医療構想も加速化し、各施設もダウンサイジングや機能転換が余儀なくやってきます。働く看護職の役割や求められる看護も変化します。看護職としての自分磨きができる研修会・交流会を企画していますので、是非参加してください。現状や困難な問題などを共有し明日への一歩につながるよう看護職を盛り上げていきましょう。



リトルベビーハンドブックの紹介



長崎でも「リトルベビーハンドブック」導入

小さく生まれた子どもとその家族のための手帳「リトルベビーハンドブック」が、長崎県でも導入されました。テレビ長崎では、子育てしやすい優しい社会にしていくため「Lovebabyプロジェクト」を展開し、リトルベビーハンドブックについてもこれまでニュースやHPで取り上げてきました。



リトルベビーハンドブックとは、低体重で生まれた赤ちゃんの成長や発達を記録できる母子手帳のサブブックで、全国的に導入が進んでいます。厚生労働省の統計によると、生まれてくる赤ちゃんの約1割が2500g未満の低出生体重児です。

私も長男が、予定より3カ月早く約500gで生まれたリトルベビーということもあり、このハンドブックが長崎にも導入され大変うれしく思います。早産の場合、母子手帳には記録できない項目がたくさんあります。体重を記録する欄は1kg、身長は40cmからしかなく、月齢ごとの成長の記録は、ほとんどの項目で「いいえ(できない)」に。医師などから「そのうち追いつきますよ」と言われても、「私のせいだ」と気持ちが落ち込んでしまうこともありました。

長崎では、2021年に早産児のママたちでつくる「長崎リトルベビーの会 Lino(りの)」ができました。子どもの成長の喜びや育児の悩みなどを共有するとともに、リトルベビーハンドブックの県内への導入を目指し、県への要望活動や写真展などを開催してきました。

県は、ママたちや医療関係者などの意見を取り入れながらハンドブックを作成。主に、出生体重が1500g未満、もしくは33週未満で生まれた子どもとその家族などに配布されます。小さく生まれた子の発達の特徴なども載っていて、子どもの成長の様子を自由に記述できるページもあります。先輩ママやパパからの応援メッセージも盛り込まれていて、「あなたはひとりじゃないよ、大丈夫」と、心にそっと寄り添ってくれる手帳になっています。

早産児のママは、子どもに対してつい「早く産んでしまっでごめんね」と思ってしまいますが、リトルベビーハンドブックがあることで、「生まれてきてくれてありがとう」、「あなたのペースで一緒に色々頑張っていこうね」、「これからの成長が楽しみ」というような気持ちが強くなればいいなと思います。誰ひとり取り残されることなく、安心して子育てができる社会になるように…リトルベビーハンドブックにはそんな願いも込められています。

テレビ長崎 メディア推進局 川波美幸



パパのための育児手帳の紹介



目的

これから父親となる男性が、子どもの成長過程を理解し、父親としての自覚を育みながら育児をするための手帳です。お父さんの視点での育児に関するさまざまな情報を掲載した長崎市のオリジナル版です。



乳 児 期												
発育・発達には個人差があります												
月齢	1 か月	2 か月	3 か月	4 か月	5 か月	6 か月	7 か月	8 か月	9 か月	10 か月	11 か月	12 か月
出生 届出	新生児訪問		こんにちは 赤ちゃん訪問	4 か月児 健診(集団)	7 か月児健診(医療機関)			10 か月児健診(医療機関)				
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> 予防接種は 2 か月から </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 地域の民生 委員さんが 訪問します </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 予防接種 育児学級 離乳食教室 各種教室 </div>												
子どもの 発達と パパの 関わり	<ul style="list-style-type: none"> 音のする方に顔を向ける。 手に持ったものをしゃぶる。 動くものを目で追う。 	<ul style="list-style-type: none"> 体重が約2倍になる 首がすわる。 腹ばいで遊べる。 生活リズムが整ってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 腹ばいになると手足をバタつかせ、寝返りができるようになる。 物に手を伸ばす。 よだれが増える。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しの間なら支えなしで座れるようになる。 いろいろなものを口に持っていく。 歯が生え始める。 	<ul style="list-style-type: none"> おすわりやはいはいができる。 つかまり立ちを始める子もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> つたい歩きをする。 少しの間なら1人立ちができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「あー」「うー」「くー」などの声を出す。 あやすと笑い、あやすと声を出して笑う。 表情が豊かになる。 	<ul style="list-style-type: none"> あやすと声を出して笑う。 表情が豊かになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手をしてあげるととても喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ぶーぶー」「まーまー」などが言える。 人見知りが始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人の顔を覚え、表情が理解できる。 ママが見えなくなると泣いたり、後追いをします。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まんま」「ぶーぶー」など簡単な単語が話せる。
	縦抱きを好むようになります。抱っこして外気浴、お散歩しましょう。目で見て楽しめるおもちゃなども良いでしょう。	ガラガラなど、自分で触って遊びます。	音の出るおもちゃや握れるおもちゃで遊びましょう。	いらないないばあ、たかいたかい、膝の上でジャンプなどの遊びを好みます。	大人の真似を始めます。身振りも交えて話しかけましょう。膝で絵本を読むのも良いでしょう。	ホール転がしや飛行機ぶんぶんも大好きです。						

乳幼児期

アクセスの仕方

子育て応援情報サイト「イーカオ」
子どもや子育て家庭に関する情報を集めたホームページです。行政の取り組みや制度のお知らせだけでなく、幼稚園や保育所など施設情報や親子で楽しめるイベント情報などを発信しています。

「イーカオ」のお問い合わせ
子育て支援課 TEL 095-829-1270



いつも“看護”とともに。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4F
TEL: 03-5778-5712 <https://www.jnapc.co.jp>



株式会社日本看護協会出版会は2023年、創立50周年を迎えました。特設サイトはこちらです。ぜひ、ご覧ください！
URL: <https://www.jnapc.co.jp/50th>

地区支部だより

各支部の活動やお知らせをお届けします。



県南支部

支部長 糟谷 操子

春らしく穏やかな気候に心とむ季節となりました。新入職員を迎え、皆様方におかれましては希望に満ち溢れる新年度をお迎えのことと思います。国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてから丸3年。長期にわたる自粛生活、社会全体が重い空気に包まれる中、皆様方の大変な努力があることを心より感謝申し上げます。

支部事業は令和4年度も予定していた事業をほぼ開催することができました。これもひとえに会員の皆様や各委員の皆様方のご理解とご協力のおかげです。ありがとうございました。1月28日に第2回看看連携交流会は「地域の高齢者を支える看護職連携を考える～元気なうちから手帳の活用を通して～」をテーマとし、24名の参加者の皆さまより、元気なうちから手帳の活用やACPの必要性についての意見を頂きました。2月18日の施設代表者交流会では「タスク・シフト/シェア」をテーマに25名の参加を頂きました。

令和5年度からは支部事業のスリム化により、これまでの事業内容と少し変更になりますが、県協会と連携しながら充実した事業内容となるよう取組んで参ります。

県央支部

支部長 中尾 理恵子

令和5年度が始まりました。新型コロナウイルス感染症は低空飛行しながら、インフルエンザは減少傾向となっていることと思います。いずれにしても感染症対策は最重要課題なので、引き続き宜しくお願い致しますと同時に、そのご苦勞に感謝申し上げます。

事業報告を致します。令和5年2月4日は「困難事例」への「看看連携」の現状といたしまして、看護職(保健師、病院看護師、訪問看護師等)並びにMSWの方にもご参加いただき、病院から在宅支援の報告を発表、その後GWを実施致しました。参加者は47人、課題山積で活発な意見交換ができました。今後の更なる地域包括推進には、リハビリスタッフ、栄養士、多職種との検討会が必要との意見が出ました。今年度に繋げていきます。また3月4日は「県央支部情報交流会」を開催し、委員等含めて87名の参加となりました。研究や、事例紹介、タスクシフト、自施設(看護学校)の取り組み等14事例の紹介がありました。看護の質に関わる報告、研究も多く参加者からは高評価でした。今後、看護研究は「長崎県看護協会学術集会」へご寄稿お願い致します。県央支部では、施設の取り組み、タスクシフト、事例紹介等を報告して頂き、支部内の情報共有に努めてまいります。宜しくお願い致します。



2.4 看護職連携ネットワーク会議



3.4 情報交流会

県北支部

支部長 福田 由美子

新規入職者を迎え、気持ちも新たに新年度がスタートします。コロナ禍においては、中止を余儀なくされたり、オンラインでの開催となりましたが、4月には「まちの保健室」、5月の「看護の日」記念行事は屋外での開催に向けて準備を進めています。新型コロナウイルスの対応が変わっていく中で、支部事業活動も感染状況に合わせて活動範囲を緩和していけるよう検討していきたいと思っています。

年末12月の歳末助け合い募金には、各施設様のご協力を有難うございました。永年にわたる活動に対し、長崎県共同募金会様より県北支部へ感謝状を頂いておりますのでご報告いたします。また、令和5年度に向けて新委員の全ての推薦をいただき、ご理解とご協力に感謝いたします。7月1日より新体制で活動開始となりますので、どうぞよろしくお願い致します。





下五島支部

支部長 岡 知美

春風が心地よい季節となりました。各施設、病院では、新人職員の育成が始まっていると思います。下五島支部も新たな気持ちで活動を行っていきます。

2月には、五島市つばきマラソンが通常開催され、救護ボランティアとして活動を行うことができました。五島が朝ドラの舞台に選ばれたこともあり、盛り上がりを見せていたと思います。今後、再開される地域イベントにも協力して協会活動が行えたらと思っています。まずは、5月の看護の日に「まちの保健室の開催」です。今後とも、宜しくお願い致します。



上五島支部

支部長 中尾 由香

春風の心地よい季節となりました。新年度となり異動等で業務に希望や不安を抱いている方もいるのではないのでしょうか？人が入れ替わり新しい風を吹かせることで職場・個人の士気が上がると思います。気持ちを新たに從事していきましょう。また看護協会活動へもご協力をお願い致します。

「看護の日イベント」「まちの保健室」「研修会(オンライン)」と昨年度は少しずつ活動できるようになりました。今年度はふれあい看護体験の実現や、まちの保健室を定期的に行うこと、また研修として「施設看護職員情報共有交流会」を行い上五島の医療・看護の連携を深めていきたいと思っています。



壱岐支部

支部長 鋸崎 くみ子

新緑に包まれ、爽やかな空気が心地よい季節となりました。会員の皆様におかれましては、新年度体制となり、新鮮な風が吹き込んでくるわくわく感と、目まぐるしく進んでいく業務の中で奮闘されていることでしょう。

さて、壱岐市では年初めにコロナの感染拡大があり、離島間通配信研修が中止となり、他の離島の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。ただ、コロナも悪い事ばかりではなく、Zoom研修が増えたことで、離島の会員にとっては研修に参加しやすいという声も聞かれています。今後も離島の新規会員が増えるような活動を目指し、取り組んで参りたいと思います。

6月17日(土)は長崎県看護協会通常総会の後に壱岐支部の報告会を予定しておりましたが、今年度は書面での報告とさせていただきますので、ご了承ください。



対馬支部

支部長 武末 浜枝

新型コロナ感染症での第8波が落ち着き、皆様の周囲では以前のような日々が戻っているのでしょうか。春は別れと出会いの季節ですね。対馬支部でも以前のような生活が戻りつつありますが、皆さんの地区と違った事といえば、韓国人観光客が多い事でしょうか。

そのような中、対馬支部では、11月19日、離島就業看護職研修会を行いました。上対馬と対馬病院、市の保健師が25名参加し研修会が行われて、活発な意見交換を行いました。

また、3月4日は看護研究会及び看護研究研修会を開催しました。各施設から4演題の発表があり、どれも興味深い内容で、質疑応答では他の施設の演題に活発な質問が行われ、意見を交換し、お互いに良い刺激となりました。研修会で講師の庄山由美先生からの貴重なアドバイスも頂き、来年度以降の看護研究のヒントを得ることが出来ました。今後役に立ちたいと思います。対馬支部は、年度明けすぐに、まちの保健室を予定しています。地域の方々との触れあいを通して、地域に貢献し、有意義な活動を行いたいと思います。



病院 紹介

出口病院

当院は、昭和40年に長崎市北西部に開院した精神療養病棟60床、認知症治療病棟60床の120床を有する精神科病院です。病院からは柿泊運動公園を眺めることができるのどかな場所にあります。

現在、我が国の社会問題として認知症高齢者の増加があげられます。当院では2つの病棟に加え認知症疾患医療センター、重度認知症デイケアなど認知症ケアに特化した施設を有しています。また、長崎市より認知症初期集中支援事業の委託を受け、市北部エリアの地域包括支援センターと協働する後方支援の役割や積極的なアウトリーチなどを行い、社会の期待に応えるよう努力している病院です。

当院の理念において大切にしている事項のひとつに「ケース・カンファレンスを重視する」というものがあります。ケース・カンファレンスの実施は院内全体の日常に根付き、多職種が対等に意見を述べる風土があります。その成果が患者・利用者ひとりひとりに向き合う個別ケアに活かされています。

昨年1月に本館と精神療養病棟が新築移転し療養環境は快適なものとなりました。我々スタッフ一同も日々リニューアルケアの質を向上させることで、地域の精神医療に貢献できるよう精進したいと思います。

病院の窓からは柿泊運動公園が一望できます！



いつもニコニコ(^.^)
認知症治療病棟スタッフ



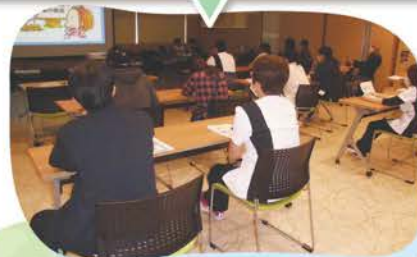
時間を作って
ケースカンファレンス！



元気ハツラツ!(^^)!
精神療養病棟スタッフ



主任会主催の勉強会「精神疾患の理解」
しっかり学んでケアに活かそう！



患者さんの人権・尊厳に配慮！
行動制限最小化委員会



編集後記

月に2回集まって会報誌を作成しています。いろんなアイデアを出し合って編集を頑張っています（半分は日頃の出来事や愚痴を言い合ってリフレッシュをしています）。皆さんに読んでもらえるように、楽しい企画や役に立つ情報を掲載できるように心がけています。今年度もよろしくお祈いします。

こんにちは、
広報出版委員会です！

